

いかフライからの表示にない アレルギー(卵)の検出事例

衛生化学部

○白川綾乃 高山清子 鈴木郷
木下和昭 恒益知宏 松川浩子
落合克紀

はじめに

1

2

食物アレルギーとは

食物を摂取した際、食物に含まれる原因物質(アレルギー:主としてタンパク質)を異物として認識し、身体が過敏な反応を起こすこと



出典:消費者庁「知っておきたい食品の表示」より

表示制度

食物アレルギー表示対象品目(食品表示法)

表示	用語	品目
義務	特定原材料 (7品目)	えび、かに、小麦、そば、卵、乳、 落花生(ピーナッツ)
推奨	特定原材料に 準ずるもの (21品目)	アーモンド、あわび、いか、いくら、 オレンジ、カシューナッツ、 キウイフルーツ、牛肉、くるみ、 ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、 バナナ、豚肉、まつたけ、もも、 やまいも、りんご、ゼラチン

出典:消費者庁「加工食品の食物アレルギー表示ハンドブック」を基に作成

3

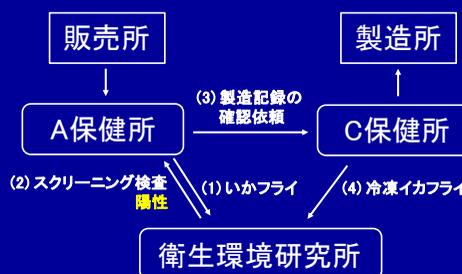
4

収去検査による表示の監視

(平成29年度～令和3年度)

- 対象: 県内で収去された食品 141検体
(原材料名表示に特定原材料の記載が無いもの)
- 検査項目: 卵、乳、小麦、そば、落花生
- 不適事案: 令和元年度 1件(卵)
平成30年度 1件(乳)
平成29年度 2件(卵)
⇒いずれも表示欠落による不適

本事例の概要



5

6

対象及び方法

7

検査対象



いかフライ



冷凍イカフライ

8

検査方法

1. スクリーニング検査

ELISA法(定量法)

▼ 陽性の場合

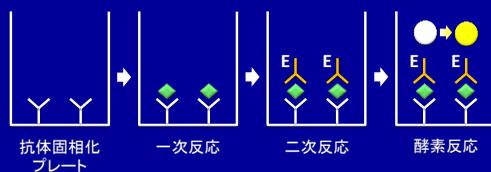
2. 確認検査

ウエスタンブロット法(定性法)

9

ELISA法

抗原抗体反応を利用して、食品中に含まれるタンパク質を検出・定量する手法

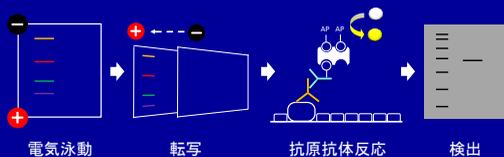


参考: 株式会社森永生科学研究所HPを基に作成

10

ウエスタンブロット法

食品中に含まれるタンパク質を、電気泳動により分子量で分離し、抗原抗体反応を利用してタンパク質を検出する手法



参考: 株式会社森永生科学研究所HPを基に作成

11

結果

12

ELISA法(スクリーニング検査)

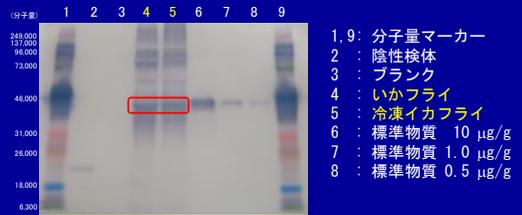
試料	卵由来タンパク質 ($\mu\text{g/g}$)		判定
	Nキット ^{a)}	Mキット ^{b)}	
いかフライ	>20	>20	陽性
冷凍イカフライ	>20	>20	陽性

a) 日本ハム株式会社製FASTKIT Ver. III

b) 株式会社森永生科学研究所製モリナガFASPEKエライザII

13

ウエスタンブロット法(確認検査)



いかフライ、冷凍イカフライともに陽性

14

考察

15

検査結果のまとめ

	スクリーニング検査 (ELISA法)	確認検査 (ウエスタンブロット法)
いかフライ	陽性	陽性
冷凍イカフライ	陽性	陽性

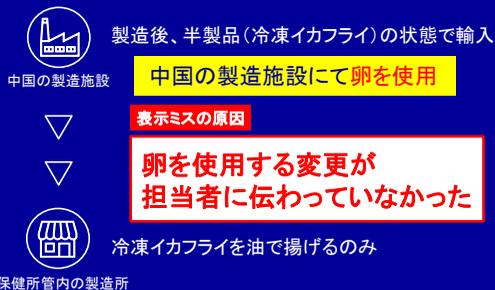
冷凍イカフライの製造施設での混入が推測された

製造施設等への調査依頼

16

製造施設等への調査の結果

製品の流れ



17

今後について

1. アレルゲン検査の継続的な実施
2. 保健所等との連携に基づく、適切な検査の実施
3. アレルゲン一斉分析の開発

18